

第2 茨城県の交通事故

1 県内の交通事故発生状況

(1) 概要

発生件数は平成13年から20年連続で減少し、昭和39年以来56年ぶりに7,000件を下回った。

死者数は84人で前年に比べ23人減少し、昭和31年以来64年ぶりに100人を下回ったが、全国順位はワースト第11位と、未だ死亡事故多発県に位置している。

(2) 第1当事者の年齢別発生状況(P31~40参照)

発生件数は「20歳代」が1,114件(前年比-322件、全事故の18.4%)、死亡事故件数では「40歳代」が17件(全死亡事故の20.2%)で、それぞれ最も多い年齢層となっている。

「高齢者(65歳以上)」は発生件数が1,505件(前年比-224件、全事故の24.9%)、死亡事故件数は28件(前年比-1件、全死亡事故の33.3%)、「青少年(16~24歳)」は発生件数が885件(前年比-181件、全事故の14.6%)、死亡事故件数は9件(前年比-6件、全死亡事故の10.7%)であった。

(3) 月別発生状況(P41~43参照)

発生件数は「1月」(590件)が最も多く、次いで「3月」(565件)の順に多い。

前年比では「5月」(-298件)が最も減少した。

死者数は「1月」・「11月」(各12人)が最も多い。

前年比では「7月」(+3人)が最も増加、「6月」(-7人)が最も減少した。

(4) 曜日別発生状況(P44~45参照)

発生件数は「金曜日」(1,002件)が最も多く、「日曜日」(658件)が最も少ない。

前年比では「日曜日」(-289件)が最も減少した。

死者数は「木曜日」(18人)が最も多く、「金曜日」(7人)が最も少ない。

前年比では「水曜日」・「木曜日」(各+2人)が最も増加、「金曜日」(-16人)が最も減少した。

(5) 時間・昼夜別発生状況(P46~47参照)

発生件数は「17~18時」(578件)が最も多く、次いで「7~8時」(507件)が多い。

前年比では「0~1時」(+26件)が最も増加、「8~9時」(-165件)が最も減少した。

死者数は「17~18時」(10人)が最も多く、「1~2時」・「22~23時」は死亡事故の発生がなかった。

前年比では「17~18時」・「18~19時」(各+6人)が最も増加、「22~23時」(-6人)が最も減少した。

(6) 路線別発生状況(P48~56参照)

発生件数は「市町村道」(2,262件、全事故の37.4%)が最も多く、次いで「国道」(1,71

5件)、「県道」(1,681件)の順に多い。

前年比では「市町村道」(-516件)が最も減少した。

死者数は「市町村道」(31人)が最も多く、次いで「国道」(27人)の順に多い。

前年比では「県道」(-10人)が最も減少した。

(7) 道路形状別発生状況 (P 57~59参照)

発生件数は「交差点」(2,387件、全事故の39.5%)が最も多く、次いで「直線」(2,095件)が多い。

前年比では「直線」(-738件)が最も減少した。

死者数は「直線」(33人、全死者の39.3%)が最も多く、前年比では「交差点付近」(+2人)のみ増加した。

(8) 第1当事者別発生状況 (P 60~63参照)

発生件数、死亡事故件数とも「普通乗用自動車」(発生件数:3,094件、全事故の51.1%、死亡事故件数:28件、全死亡事故の33.3%)が最も多い。

前年比では「普通乗用自動車」(-710件)が最も減少した。

死亡事故件数は「歩行者」(+4件)が最も増加し、「軽乗用自動車」(-15件)が最も減少した。

(9) 第1当事者の事故類型別発生状況 (P 64~69参照)

発生件数は「追突」(2,287件、全事故の37.8%)が最も多く、次いで「出会い頭」(1,620件)の順に多く、双方で全事故の6割以上(64.6%)を占める。

前年比では「追突」(-774件)が最も減少した。

死者数は「人対車両-横断中」(26人、全死者の31.0%)が最も多く、次いで「正面衝突」(10人)が多い。

前年比では「人対車両-横断中」(+6人)が最も増加、「車両相互-出会い頭」(-12人)が最も減少した。

(10) 第1当事者の原因別発生状況 (P 70~75参照)

発生件数は「前方不注意」(1,958件、全事故の32.4%)が最も多く、次いで「安全不確認」、「動静不注視」、「運転操作不適」の順に多い。

死亡事故件数は「前方不注意」(18件、全死亡事故の21.4%)が最も多く、次いで「歩行者妨害」(12件)の順に多い。

前年比では「歩行者妨害」(+5件)が最も増加、「前方不注意」(-12件)が最も減少した。

(11) 警察署・市町村別発生状況 (P 76~101参照)

警察署別の発生件数は「水戸警察署」(801件)が最も多く、次いで「つくば警察署」(553件)、「土浦警察署」(515件)の順に多い。

市町村別の発生件数は「水戸市」(696件)が最も多く、次いで「つくば市」(553件)、「土浦市」(425件)の順に多い。

警察署別の死者数は「土浦警察署」(8人)が最も多く、次いで「水戸警察署」(7人)の順に多い。

市町村別の死者数は「土浦市」(7人)が最も多く、次いで「鉾田市」・「筑西市」(各6人)の順に多い。

人口千人当たりの発生件数は「土浦市」(3.08件)が最も多く、次いで「水戸市」(2.58件)、「那珂市」(2.52件)の順に多い。

(12) 状態別死傷者数等(P102~111参照)

状態別の死者数は「歩行者」(40人、全死者の47.6%)、負傷者数は「四輪車乗車中」(5,616人、全負傷者の75.3%)が最も多い。

年齢別死者数では「高齢者(65歳以上)」が52人で最も多く、その状態別は「歩行者」(27人、構成率51.9%)、「四輪車乗車中」(13人)の順に多い。

年齢別負傷者数では「40歳代」(1,461人)が最も多く、その状態別は「四輪車乗車中」(1,254人)が約9割(85.8%)を占めた。

(13) シートベルト着用状況(P112~115参照)

四輪車乗車中の死者23人中、10人(構成率43.5%)が非着用であった。

負傷程度別の着用者構成率は、軽傷(95.7%)、重傷(85.1%)、死亡(52.2%)と、着用者構成率の低下に伴い負傷程度は重くなっている。

(14) 飲酒運転による交通事故(P117~118参照)

飲酒運転による交通事故の発生件数は68件(全事故の1.1%)、死亡事故件数は4件(全死亡事故の4.8%)、死者数は4人(全死者の4.8%)で、死者数の全国順位はワースト第12位であった。

第1当事者の年齢層別死亡事故件数は、「30歳代」・「40歳代」が各2件であった。

(15) 無免許運転による交通事故(P119~120参照)

無免許運転による交通事故の発生件数は81件(全事故の1.3%、前年比+14件)、死亡事故件数は4件(全死亡事故の4.8%、前年比+1件)であった。

(16) 最高速度違反による交通事故(P121~122参照)

最高速度違反による交通事故の発生件数は6件(全事故の0.1%)と全事故に占める割合は少ない。しかし、死亡事故件数は5件(全死亡事故の6.0%)で、死亡事故の大きな要因となっている。

(17) 子供(中学生以下)が関係した交通事故(P123~127参照)

子供が関係した交通事故の発生件数は「幼児」160件、「小学生」215件、「中学生」187件で、前年比では「幼児」(-91件)、「小学生」(-49件)、「中学生」(-12件)とも減少した。

死者は「幼児」、「中学生」が各0人、「小学生」が2人であった。

状態別死傷者数では「幼児」、「小学生」は四輪車同乗中(構成率:幼児83.5%、小学生61.0%)が多く、「中学生」は自転車乗用中(構成率66.9%)が多い。

子供の死傷者数の原因別では、自転車乗用中は「安全不確認」(構成率16.7%)、歩行者は「飛び出し」(構成率30.2%)が最も多い。

(18) 高校生の交通事故(P 128~130参照)

高校生が関係した交通事故の発生件数は304件(全事故の5.0%)、死者数は1人(全死者の1.2%)で、前年比では発生件数(-88件)、死者数(-5人)とも減少した。

状態別死傷者数は、自転車運転中(構成率61.5%)、四輪車同乗中(構成率21.9%)の順に多い。

死者数は、四輪車同乗中が1人であった。

(19) 青少年(16~24歳)の交通事故(P 131~134参照)

青少年が関係した交通事故の発生件数は1,671件(全事故の27.6%)、死者数が8人(全死者の9.5%)で、前年比では発生件数(-376件)、死者数(-4人)とも減少した。

青少年運転者(原付以上)による交通事故の発生件数は880件(全事故の14.5%)で、平成13年以降20年連続で減少し、統計資料の残る昭和56年以降最少を更新した。

死亡事故件数は9件(全死亡事故の10.7%)で、前年より減少(-6件)した。

死亡事故の原因別では、最高速度(3件、構成率33.3%)、事故類型別では工作物衝突(2件、構成率22.2%)が最も多い。

(20) 高齢者(65歳以上)の交通事故(P 135~137参照)

高齢者が関係した交通事故の発生件数は2,307件で、前年より減少(-509件)、死者数は52人(全死者の61.9%)で、前年より減少(-13人)した。

状態別死者数は、歩行者(27人、構成率51.9%)が最も多く、次いで四輪車乗車中(13人)の順に多い。

高齢運転者(原付以上)による交通事故は、発生件数が1,492件で、前年より減少(-228件)、死亡事故件数は22件(全死亡事故の26.2%)で、前年より減少(-4件)した。

(21) 男女別運転者による交通事故(P 138~139参照)

発生件数は男性が約6割(構成率64.6%)、女性が約4割(構成率35.4%)を占めている。

発生件数の前年比は、男性(-835件)、女性(-563件)とも減少した。

死亡事故件数では男性(-5件)、女性(-20件)とも減少した。

死亡事故の年齢層別では、男性は「40歳代」、女性は「70歳代」が最も多く、事故類型別では、男性は「人対車両」、女性は「車両対車両」が最も多い。

(22) 初心運転者による交通事故(P 140参照)

初心運転者による交通事故の発生件数は221件(全事故の3.7%)、死亡事故件数は2件(全死亡事故の2.4%)で、前年比では発生件数(-47件)、死亡事故件数(-1件)とも減少した。

年齢層別の死亡事故件数は、「20歳未満」が2件(構成率100.0%)であった。

(23) 県外居住者による交通事故(P 141参照)

県外居住者による交通事故の発生件数は719件(全事故の11.9%)、死亡事故件数は11件(全死亡事故の13.1%)で、前年比では発生件数(-178件)、死亡事故件数(-

4件)とも減少した。

路線別では「国道」が最も多く、居住都道府県別では「千葉県」、「栃木県」、「埼玉県」、「東京都」の順に多い。

(24) 事業用自動車による交通事故(P142参照)

事業用自動車による交通事故の発生件数は261件(全事故の4.3%)、死亡事故件数は11件(全死亡事故の13.1%)で、前年比では発生件数(-84件)、死亡事故件数(-1件)とも減少した。

車種別発生件数では「貨物車」(225件、構成率86.2%)が最も多く、死亡事故件数は全て「貨物車」(11件、構成率100.0%)であった。

路線別では「国道」(構成率46.0%)、「県道」(構成率23.8%)の順に多く、年齢層別では「40歳代」(構成率26.1%)が最も多い。

(25) ダンプカーによる交通事故(P143参照)

ダンプカーによる交通事故の発生件数は45件(全事故の0.7%)、死亡事故は3件(全死亡事故の3.6%)で、前年比では発生件数(-5件)は減少、死亡事故件数(+2件)は増加した。

事故類型別では「追突」(20件、構成率44.4%)、時間帯別では「13~14時」(7件)が最も多い。

(26) 二輪車の交通事故(P144~145参照)

二輪車が関係した交通事故の発生件数は408件(全事故の6.7%)、死者数は8人(全死者の9.5%)で、前年比では発生件数(-62件)、死者数(-10人)とも減少した。

このうち原付の発生件数は195件(全事故の3.2%)、死者数は4人(全死者の4.8%)で、前年比では発生件数(-34件)、死者数(-3人)とも減少した。

二輪車乗車中の死者8人中、ヘルメット着用は8人(構成率100.0%)であった。

二輪車による事故件数は95件(全事故の1.6%)、死亡事故件数は4件(全死亡事故の4.8%)で、前年比では発生件数(+3件)は増加、死亡事故件数(-7件)は減少した。

事故を起こした年齢層別は「青少年」が約3割(25.3%)と最も多く、事故類型別では「追突」、原因別では「前方不注意」が最も多い。

(27) 自転車に関係した交通事故(P146~148参照)

自転車に関係した交通事故の発生件数は854件(全事故の14.1%)、死者数は12人(全死者の14.3%)で、前年比では発生件数(-152件)、死者数(-5人)とも減少した。

死傷者数の事故類型別は「出会い頭」、原因別では「安全不確認」がそれぞれ最も多い。

(28) 歩行者が関係した交通事故(P149~151参照)

歩行者が関係した交通事故の発生件数は657件(全事故の10.9%)、死者数は40人(全死者の47.6%)で、前年比では発生件数(-92件)は減少、死者数(+9人)は増加した。

死傷者数の時間帯別では「16~20時」が約4割(39.3%)を占めており、年齢層別で

は「高齢者」(37.6%)が最も多く、行動類型別では「道路横断中」、原因別では「横断歩道外横断」が最も多い。

(29) 外国人の交通事故(P 152～153参照)

外国人が関係した交通事故の発生件数は243件(全事故の4.0%)、死者数は1人(全死者の1.2%)で、前年比では発生件数(-19件)、死者数(-1人)とも減少した。

外国人による交通事故の発生件数は131件(全事故の2.2%)、死亡事故件数は2件(全死亡事故の2.4%)で、前年比では発生件数(-17件)は減少、死亡事故件数(+1件)は増加した。

国籍・地域別発生件数では「中国」が最も多く、次いで「ブラジル」、「スリランカ」の順に多い。

(30) 踏切事故(P 154参照)

踏切内で列車と衝突した交通事故の発生はなかった。

前年比では発生件数(-2件)、死亡事故件数(-1件)とも減少した。

(31) 物件交通事故(P 155～156参照)

物件交通事故の発生件数は66,547件で、前年より減少(-10,181件)した。

*物件交通事故の発生件数には、人身交通事故に移行した件数等も含む。

(32) 30日死者(P 157～158参照)

30日死者は16人で、前年より減少(-6人)した。

(33) 交通安全運動期間中の交通事故発生状況(P 159参照)

令和2年中の

春の全国交通安全運動期間中(4月6日～4月15日)

死者数は0人

秋の全国交通安全運動期間中(9月21日～9月30日)

死者数は0人

であった。

2 県内の交通事故年次推移(物件事故を含む)

	人身交通事故				物件事故 件数	総件数	人口	自動車 台数	人口10万人当たり		自動車1万台当たり			
	発生件数	死亡事故		負傷者数					発生件数	死者数	発生件数	死者数	発生件数	死者数
		件数	順											
昭和22年	160		40	154			2,013,735	3,543	7.95	1.99	451.59	112.90		
23年	161		39	144			2,044,578	3,881	7.87	1.91	414.84	100.49		
24年	196		41	183			2,060,061	4,595	9.51	1.99	426.55	89.23		
25年	295		52	260			2,039,418	6,822	14.46	2.55	432.42	76.22		
26年	417		87	337			2,039,080	9,359	20.45	4.27	445.56	92.96		
27年	362		78	308			2,053,575	13,048	17.63	3.80	277.44	59.78		
28年	515		67	526			2,057,322	18,855	25.03	3.26	273.14	35.53		
29年	496		77	421			2,066,477	22,943	24.00	3.73	216.19	33.56		
30年	749		80	712			2,064,037	25,028	36.29	3.88	299.26	31.96		
31年	1,229		80	1,052			2,059,415	29,863	59.68	3.88	411.55	26.79		
32年	1,236		114	1,216			2,054,565	34,446	60.16	5.55	358.82	33.10		
33年	1,387		142	1,392			2,050,881	41,273	67.63	6.92	336.06	34.41		
34年	1,642		185	1,618			2,046,733	48,139	80.23	9.04	341.10	38.43		
35年	3,412		224	3,427			2,047,024	62,877	166.68	10.94	542.65	35.63		
36年	3,707		226	3,850			2,055,254	85,494	180.37	11.00	433.60	26.43		
37年	4,009		257	3,980			2,062,849	112,839	194.34	12.46	355.28	22.78		
38年	4,749		253	4,602			2,064,914	152,378	229.99	12.25	311.66	16.60		
39年	6,792		16	5,826			2,076,621	187,742	327.07	12.76	361.77	14.12		
40年	7,895		14	6,713			2,056,154	136,760	383.97	13.57	577.29	20.40		
41年	7,510		12	9,309	3,638	11,148	2,056,637	163,273	365.16	17.02	459.97	21.44		
42年	9,039		11	407	11,510	4,511	13,550	2,071,277	203,906	436.40	19.65	443.29	19.96	
43年	10,628		12	420	14,137	5,321	15,949	2,084,963	255,363	509.75	20.14	416.19	16.45	
44年	12,976		11	511	17,628	6,108	19,084	2,118,391	312,623	612.54	24.12	415.07	16.35	
45年	14,092		11	580	19,740	8,265	22,357	2,143,551	373,575	657.41	27.06	377.22	15.53	
46年	14,924		9	633	20,748	9,447	24,371	2,180,835	436,680	684.33	29.03	341.76	14.50	
47年	14,952		8	586	20,662	9,678	24,630	2,210,636	499,564	676.37	26.51	299.30	11.73	
48年	14,010		6	573	19,233	9,923	23,933	2,250,374	568,504	622.56	25.46	246.44	10.08	
49年	11,850		6	480	16,114	9,549	21,399	2,294,443	615,886	516.47	20.92	192.41	7.79	
50年	11,515		5	435	15,493	11,390	22,905	2,342,198	657,995	491.63	18.57	175.00	6.61	
51年	11,040	356	8	374	14,877	10,922	21,962	2,378,220	716,639	464.21	15.73	154.05	5.22	
52年	10,342	323	9	338	13,953	11,655	21,997	2,415,580	778,332	428.14	13.99	132.87	4.34	
53年	10,239	315	8	331	13,514	13,236	23,475	2,461,806	846,391	415.91	13.45	120.97	3.91	
54年	10,528	308	9	316	13,867	17,848	28,376	2,508,471	916,290	419.70	12.60	114.90	3.45	
55年	10,264	304	10	317	13,372	18,852	29,116	2,558,007	978,112	401.25	12.39	104.94	3.24	
56年	10,161	296	10	315	13,218	20,242	30,403	2,593,882	1,038,945	391.73	12.14	97.80	3.03	
57年	10,377	308	10	327	13,474	22,020	32,397	2,632,409	1,105,777	394.20	12.42	93.84	2.96	
58年	10,531	324	10	341	13,542	24,942	35,473	2,665,239	1,168,166	395.12	12.79	90.15	2.92	
59年	9,886	336	10	354	12,845	27,284	37,170	2,690,696	1,226,588	367.41	13.16	80.60	2.89	
60年	10,790	387	5	407	14,024	30,376	41,166	2,725,005	1,287,039	395.96	14.94	83.84	3.16	
61年	11,488	359	8	380	14,744	32,167	43,655	2,746,310	1,352,728	418.31	13.84	84.92	2.81	
62年	12,727	334	9	351	16,227	37,642	50,369	2,769,973	1,421,333	459.46	12.67	89.54	2.47	
63年	13,152	376	10	390	16,942	40,567	53,719	2,797,696	1,513,969	470.10	13.94	86.87	2.58	
平成元年	14,022	439	8	462	18,100	44,985	59,007	2,826,024	1,603,417	496.17	16.35	87.45	2.88	
2年	14,410	426	9	450	18,522	47,525	61,935	2,845,411	1,696,256	506.43	15.81	84.95	2.65	
3年	15,880	437	8	459	20,162	50,724	66,604	2,877,242	1,780,174	551.92	15.95	89.20	2.58	

注:1 死亡事故件数は発生件数の内数で、昭和51年から計上。

2 死者数欄の「順」(斜体太字)は、全国ワースト順位。

3 物件事故は、昭和41年から別計上。昭和40年以前の発生件数には、物件事故を含む。

4 全事故件数は、人身交通事故件数と物件事故件数の計。

5 人口は茨城県資料(各年10月1日現在、令和2年は7月1日現在)、自動車台数は国土交通省資料(各年12月末現在)。

自動車台数のうち、昭和39年以前は「小型特殊自動車」を含み「原付一・二種」を含まず、昭和40年以降は双方とも含まない。

6 「総件数」は、人身交通事故発生件数と物件事故件数の合計。

	人 身 交 通 事 故					物件事故 件 数	総 件 数	人 口	自 動 車 台 数	人口10万人当たり		自動車1万台当たり			
	発 生 件 数	死 亡 事 故			負 傷 者 数					発 生 件 数	死 者 数	発 生 件 数	死 者 数	発 生 件 数	死 者 数
		件 数	順	死 者 数											
平成 4年	19,122	454	8	481	23,281	56,094	75,216	2,904,548	1,851,920	658.35	16.56	103.26	2.60		
5年	20,678	463	5	494	24,766	54,573	75,251	2,926,752	1,910,972	706.52	16.88	108.21	2.59		
6年	21,261	404	9	421	25,281	55,204	76,465	2,949,063	1,975,215	720.94	14.28	107.64	2.13		
7年	21,111	400	9	418	25,748	56,438	77,549	2,955,530	2,042,243	714.29	14.14	103.37	2.05		
8年	22,058	368	7	385	27,808	57,920	79,978	2,968,774	2,109,550	743.00	12.97	104.56	1.83		
9年	21,852	376	4	397	27,435	58,867	80,719	2,981,567	2,157,303	732.90	13.32	101.29	1.84		
10年	23,167	336	7	353	29,528	60,096	83,263	2,993,323	2,193,507	773.96	11.79	105.62	1.61		
11年	23,869	341	8	357	30,512	62,989	86,858	2,998,967	2,228,988	795.91	11.90	107.08	1.60		
12年	25,429	321	8	328	32,613	65,032	90,461	2,985,676	2,267,118	851.70	10.99	112.16	1.45		
13年	25,154	332	6	344	32,264	67,513	92,667	2,991,172	2,300,725	840.94	11.50	109.33	1.50		
14年	24,699	318	7	331	31,622	66,849	91,548	2,992,538	2,328,144	825.35	11.06	106.09	1.42		
15年	23,840	280	9	291	30,858	67,661	91,501	2,992,152	2,342,799	796.75	9.73	101.76	1.24		
16年	23,773	255	11	266	30,870	70,574	94,347	2,991,589	2,369,528	794.66	8.89	100.33	1.12		
17年	23,486	264	6	278	30,488	70,655	94,141	2,975,167	2,420,905	789.40	9.34	97.01	1.15		
18年	22,396	231	11	239	29,261	70,608	93,004	2,971,798	2,436,218	753.62	8.04	91.93	0.98		
19年	20,415	171	11	178	26,710	69,369	89,784	2,970,800	2,449,570	687.19	5.99	83.34	0.73		
20年	18,225	202	6	210	23,508	67,320	85,545	2,968,396	2,460,504	613.97	7.07	74.07	0.85		
21年	16,668	192	7	199	21,634	67,853	84,521	2,967,404	2,465,160	561.70	6.71	67.61	0.81		
22年	16,246	198	5	205	21,102	71,817	88,063	2,969,770	2,473,979	547.05	6.90	65.67	0.83		
23年	15,010	164	9	169	19,547	73,157	88,167	2,956,854	2,491,663	507.63	5.72	60.24	0.68		
24年	14,732	139	11	142	19,448	75,739	90,471	2,945,824	2,526,518	500.10	4.82	58.31	0.56		
25年	13,279	161	10	163	17,281	75,395	88,674	2,933,381	2,546,905	452.69	5.56	52.14	0.64		
26年	12,534	129	11	132	16,460	76,432	88,966	2,921,184	2,571,650	429.07	4.52	48.74	0.51		
27年	11,613	136	11	140	15,135	77,606	89,219	2,916,976	2,584,747	398.12	4.80	44.93	0.54		
28年	10,455	146	8	150	13,441	77,978	88,433	2,907,262	2,602,068	359.62	5.16	40.18	0.58		
29年	9,679	140	9	143	12,344	78,674	88,353	2,896,675	2,614,932	334.14	4.94	37.01	0.55		
30年	8,682	122	10	122	10,965	79,911	88,593	2,882,943	2,625,354	301.15	4.23	33.07	0.46		
令和元年	7,447	105	9	107	9,372	76,728	84,175	2,868,041	2,636,047	259.65	3.73	28.25	0.41		
2年	6,049	84	11	84	7,455	66,547	72,596	2,856,788	2,643,975	211.74	2.94	22.88	0.32		